

第3学年 音楽科学習指導案

指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間	準備物
1. 自己評価カードに目標を記入する。 ①他のパートにつられずに合唱ができる。 ②「帰れソレントへ」のリズム読みができる。	○目標を書かせることによって、生徒が見通しを持って学習に取り組めるようにする。	5分	
2. 発声練習をする。 ●「アハハハハー」でうたう。 ●「マーマーマーマー」でうたう。	○発声ときにのどの奥まで開いているか、鼻腔に響いているかを確認めさせる。 ○発声をするときに腹筋に力を入れて、声を押し出すように指導する。	10分	シンセサイザー
3. 「ふるさと」の合唱練習をする。 ●ゴスペラーズの歌う「ふるさと」のDVDを鑑賞する。 ●合唱をする。	○生徒が知っているアーティストの演奏を聴かせることで、歌う意欲を高める。 ○間奏の部分をパートごとに音の確認をする。	20分	DVD
4. 「帰れソレントへ」について学習する ●範唱CDを聴く。 ●ソレントの場所を確認する。 ●歌の説明をする。 ・イタリア語(巻き舌)、イタリアの国民性について ・歌詞の内容について	○外国語の歌詞を原語で歌うことを生徒に言うことで、鑑賞する意欲を高める。 ○場所が想像できるように、写真を掲示する。 ○母音がイタリア語と日本語で似ていることを説明する。 ○歌詞の内容から、イタリアの国民性を理解し、生徒が曲に対する興味・関心を高められるようにする。	33分	範唱CD 写真教科書
5. 歌詞(イタリア語)のリズム読みをする。	○巻き舌に注意をさせながら、範唱させる。	38分	
6. メロディをつけて練習する。	○フレーズ(2小節)ごとに区切って何度も範唱させる。	48分	シンセサイザー
7. 自己評価表		50分	

3年 []組 名前[]

1 ソレントの場所はどこでしょう。



2 作詞者[] 作曲者[]

3 イタリア語の特徴

- ・()で発音するところがある。
- ・母音が()と似ている。

4 イタリアの特徴

- ・日本の気候と似ていて、()がある。
- ・イタリア人は()を気にしない人が多いなど、とても()な国民性である。

★イタリアの男性は他の国の男性に比べてかなり()的と言われている。

5 歌詞について

- ・詞の内容は、「()海と()の香るソレントの美しさを歌い、別れを告げる()に、行ってはいけない、私を悲しませないで、帰ってきてソレントへ」と呼びかけるもの。
- ・ソレントは、()湾沿いにある漁村で、非常に風光明媚なところ。曲のほうは、()のようなリズムで静かに始まるが、しだいに()に呼びかけるように高潮していき、()に終わる。